





2021年3月期 第1四半期 決算概要

2020年7月30日 NECネッツエスアイ

(銘柄略称: NESIC 証券コード: 1973)

2021年3月期 1Q 業績サマリー

受注・売上が順調に拡大し、営業損益黒字化

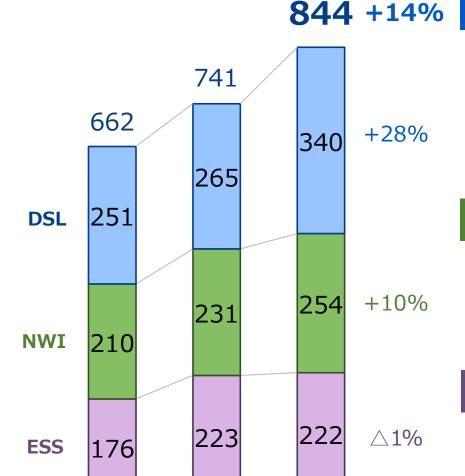
- 大型案件が受注を牽引(文教向け、海洋地震計)
- 新型コロナは、1Qは若干のマイナス影響
 - ・テレワーク需要は加速も、PJ遂行遅れ等が影響

(単位:億円)	20年3月期 1Q	21年3月期 1Q	前年同期 差/比
受 注 高	741	844	+14%
売 上 高	605	674	+11%
売上総利益率	14.4%	15.4%	+1.0pt
営 業 利 益	△1.8	10.1	+12
(営業利益率)	_	(1.5%)	_
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	0.2	3.3	+3
(四半期純利益率)	(0.0%)	(0.5%)	+0.5pt
フリー・キャッシュ・フロー	154	165	+11

※特別損益減少+19、前期の連結子会社繰延税金資産の回収可能性見直しの影響 △16を含む

10 セグメント別受注高 2021年3月期

(単位:億円)



844 +14% デジタルソリューション(DSL)

- 文教向け大型案件が牽引
- 働き方改革関連分野は継続拡大
 - ・テレワーク導入需要が加速
- 一部業種で減速感

|ネットワークインフラ(NWI)

- 通信・放送分野が拡大
 - ・海底地震計システム大型PJ、 KNSI社が牽引

【エンジニアリング& サポートサービス(ESS)

●前期自治体向け案件集中の反動も 地域文教向け案件でカバー

※21/3期にセグメント間の事業移管等があり、過年度数値を組替表示しています。

28

21/3期

22

20/3期

26

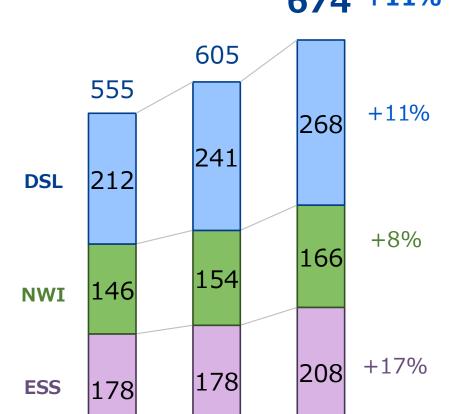
19/3期

その他

3

1Q セグメント別売上高 2021年3月期

(単位:億円)



674 +11% デジタルソリューション(DSL)

働き方改革関連分野が拡大

■ ネットワークインフラ(NWI)

- 通信·放送分野が拡大
 - ・KNSI社が拡大

■エンジニアリング& サポートサービス(ESS)

●国内施工事業 (メガソーラー、地域施工事業) が拡大

※21/3期にセグメント間の事業移管等があり、過年度数値を組替表示しています。

その他

18

19/3期

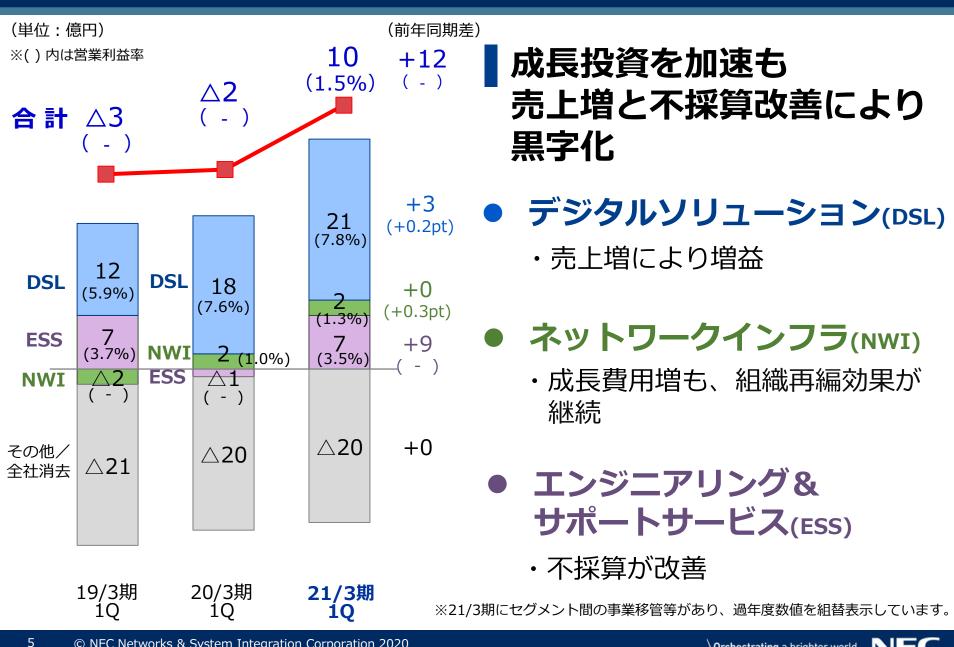
31

21/3期

32

20/3期

セグメント別営業利益 2021年3月期 1Q



2021年3月期 通期 業績予想

- 成長費用を増加しつつも、働き方改革関連や文教向け、 通信事業者向けを中心に拡大し、最高業績の更新を目指す
 - コロナ影響は、今後の再拡大リスクなどを鑑み2Q以降△10億円を 織り込む(年間利益△15億円)

(単位:億円)	20年3月期 実績	21年3月期 予想	前期差/比
受 注 高	3,050	3,100	+2%
売上高	3,036	3,120	+3%
営業利益	162	180	+18
(営業利益率)	(5.4%)	(5.8%)	+0.4pt
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	94	105	+11
(当期純利益率)	(3.1%)	(3.4%)	+0.3pt

(予想値は2020年7月30日現在のものです)

2021年3月期 通期 業績予想(セグメント別)

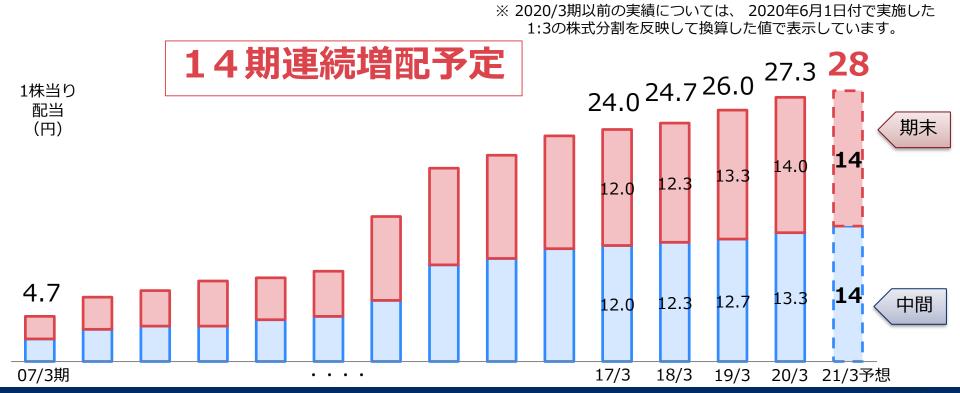


※21/3期にセグメント間の事業移管等があり、過年度数値を組替表示しています。

7

|成長投資による企業価値拡大と同時に、 安定配当をベースに株主還元を継続的に拡大

- DOE(自己資本配当率)を考慮
- 21/3期:年間28円/株へ増配



トピックスニューノーマル宣言

NESIC NormalをNew Normalに

働き方改革のパイオニアとして「共創+実践」で進化を加速

さらに

これまで

"NESIC Normal"を進化

「共創×実践」

「デジタル×5G」

New Normalの 働き方(目指すもの)

Innovation

Well-being

ダイバーシティ

BCP

環境負荷減

健康経営対応 イノベーション創出 東京一極集中の回避(地域ワ

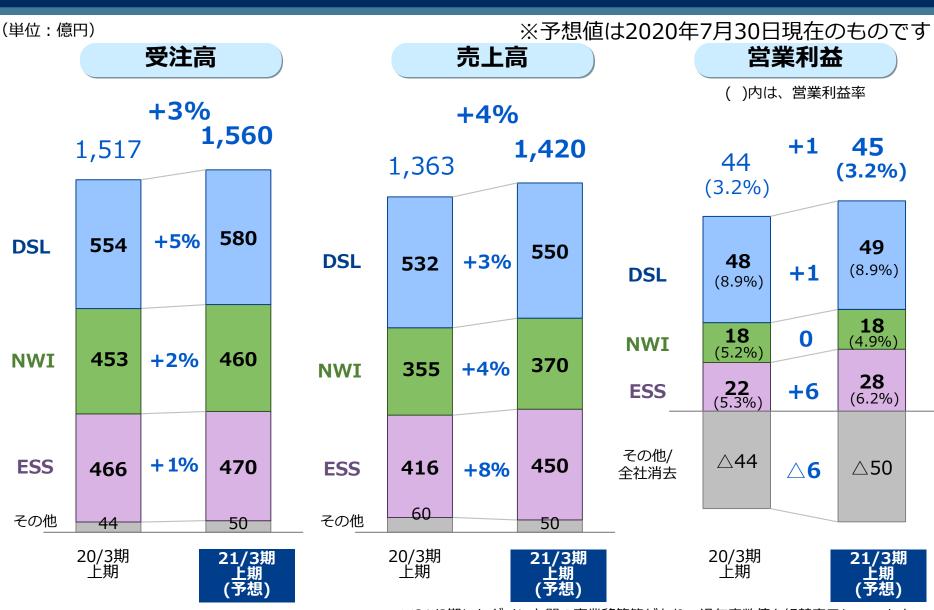
ワークライフバランス(自律した働き方)

ホワイトワーカーの生産性

APPENDIX



<参考> 2021年3月期 上期 業績予想(セグメント別)



※21/3期にセグメント間の事業移管等があり、過年度数値を組替表示しています。

<参考> 2021年3月期 1Q(20年6月末) バランスシート

(単位:億円)

	20年3月末	20年6月末	増減
現金及び現金同等物	583	724	140
受取手形及び売掛金	1,131	827	△304
たな卸資産	132	119	△13
その他流動資産	73	78	5
流動資産合計	1,918	1,747	△172
固定資産合計	384	386	2
資産合計	2,302	2,133	△169
支払手形及び買掛金	431	344	△87
借入金	87	85	△2
その他負債	649	590	△59
負債合計	1,167	1,019	△149
株主資本合計	1,145	1,127	△18
その他の包括利益累計額	△41	△42	riangle 1
非支配株主持分	31	30	△2
純資産合計	1,135	1,115	△21
負債純資産合計	2,302	2,133	△169
自己資本比率	47.9%	50.9%	+3.0pt

<参考> 2021年3月期 1Q キャッシュフロー

(単位:億円)

	20年3月期 1Q	21年3月期 1Q	前年同期差
営業活動によるキャッシュフロー(A)	169	175	6
投資活動によるキャッシュフロー(B)	△ 15	△ 10	5
フリー·キャッシュ・フロー(A+B)	154	165	11
財務活動によるキャッシュフロー	△ 18	△ 19	△ 0
現金および現金同等物期末残高	679	724	44

明日のコミュニケーションをデザインする

NECネッツエスアイは、お客様の目線に立った これからのコミュニケーションをデザインする会社 としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

本資料ついてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定 的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実 現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となり うることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情 勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競 争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

2020年4月にセグメント間の事業移管等がありました。2019年3月期および2020 年3月期の実績は、これを受け、セグメント情報の比較のために組替えた数値で示し ています。なお、2019年3月期の組替値は、監査を受けていない参考値です。

\Orchestrating a brighter world



NECネッツエスアイ

www.nesic.co.jp